



キャノン UU M5 ハウジング 取扱説明書



このたびはキャノン UU M5 ハウジングをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みいただき、十分にご理解のうえ正しくお使いください。

お客様の取り扱い上の不注意によって、ハウジング / カメラ / レンズ / その他アクセサリーなどの破損 / 損傷などが生じた場合、弊社はその一切の責任を負いかねます。
万一、本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影内容や撮影に要した諸費用、撮影により得べかりし利益の喪失など）が発生した場合においても、弊社はその一切の責任を負いかねます。

アフターサービス

保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。

保証期間後も修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。

お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

販売元

UMIUMI 株式会社

〒162-0022 東京都新宿区新宿 2-5-12
FORECAST 新宿 AVENUE 5/F CROSCOOPT 内
TEL/FAX : 03-6866-9429
e-mail : info@umiumi.jp
<http://www.umi2.jp/>

⚠ 安全上のご注意 必ずお守りください

- リングの取り付けは確実に行う。
- 長い爪やつけ爪でパチン錠を開けたり閉めたりすると、爪が割れたり折れるなどをして怪我をする恐れがあります。
- 砂やホコリなどの多い場所で取り付け作業を行わない。
- ハウジングを落としたりぶつけたりといった強い衝撃を与えない。
- 砂浜や船のデッキ上など直射日光の当たる場所や、車のトランク内など高温となる場所に放置・保管しない。
- 使用後は真水で塩分をよく洗い流した後、タオル等で乾かす。また、火や発熱器具で乾燥させない。
- アルコール・ベンジン・シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤などの油脂 / 化学製品に触れさせない。
- 高湿度下、温度変化の激しい場所に放置・保管しない。
- お子様の手の届かない所に保管する。

お手入れ / 保管

- 使用後は真水で塩水をしっかり洗い流した後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置いてよく乾燥させてください。
- 高湿度下、極寒の場所、温度変化の激しい場所を避けて保管してください。
- オーバーホールは、1年に1回を推奨いたします。

⚠ 重要事項

UU M5 ハウジングでは、カメラの下記の機能が使えません。

あらかじめご了承下さい。

- ① DIAL FUNC ボタン
- ② ホイールコントローラー
- ③ M モード時の ISO 感度設定
- ④ フラッシュポップアップボタン（必ずストロボがポップアップする）

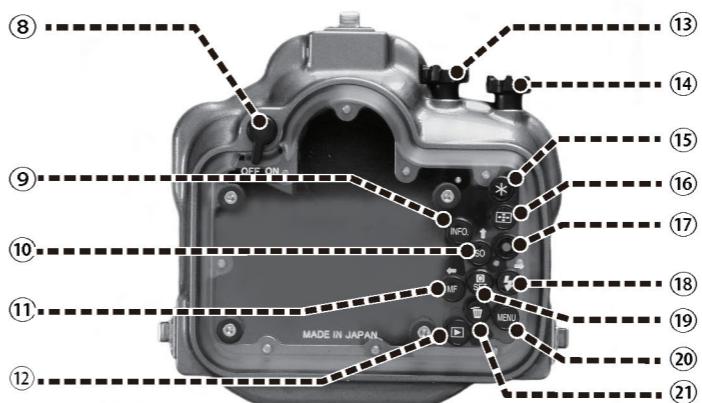
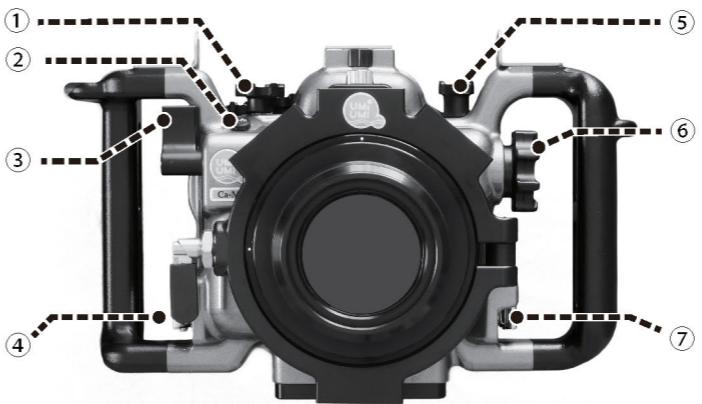
同梱品

ご購入時、以下のものがパッケージに入っているかご確認ください。



主な仕様

適応カメラ：キャノン EOS M5
● 主要材質：ABS樹脂
● 尺寸法：287×176×111 重さ 約 1560g(カメラ、レンズ含まず)
耐圧水深：60M



- ① メイン電子ダイヤル
- ② マルチファンクションボタン
- ③ シャッターレバー
- ④ パチン錠右
- ⑤ モードダイヤル
- ⑥ ズームダイヤル
- ⑦ パチン錠左
- ⑧ 電源スイッチ
- ⑨ インフォメーションボタン
- ⑩ ISO / 上ボタン
- ⑪ マニュアルフォーカス / 左ボタン
- ⑫ 再生ボタン
- ⑬ サブ電子ダイヤル
- ⑭ 露出補正ダイヤル
- ⑮ AE ロックボタン
- ⑯ AF フレーム選択ボタン
- ⑰ 動画ボタン
- ⑱ ストロボ / 右ボタン
- ⑲ クイック設定メニュー / 設定ボタン
- ⑳ MENU ボタン
- ㉑ 消去 / 下ボタン

解説ムービー

マークのある箇所は、弊社ホームページ上にて動画での説明をご覧いただけます。

<http://www.umi2.jp/support/>

スマートフォンやタブレットの場合は以下の QR コードにアクセスしてください。



➡ カメラ側の設定 (※重要です。必ずやってください)

① キヤノン M5 はアイセンサーに目を近づけると自動的にモニター表示からファインダー表示に切り替わる設定になっています。
ハウジングにカメラを入れると自動的にファインダー表示に切り替わるため、モニター表示に設定を変更する必要があります。以下の手順で行って下さい。

MENU ボタンを押します
マークまで移動します



表示先設定を選択します (SET ボタン)



表示先切り替えをオートからマニュアルに変えます

マニュアル表示先をモニターに変えます
(モニター又は、ファインダーを選択します)

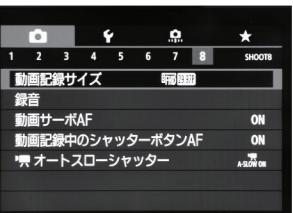


➡ モニターとファインダーを手動で切り替える設定

上記のマニュアル表示先設定をモニターに変えるとファインダーに切り替える事が出来ません。モニターとファインダー両方を使う場合は M-Fn ボタンに切り替えの機能を割り当てる事が出来ます。
以下の手順で行ってください



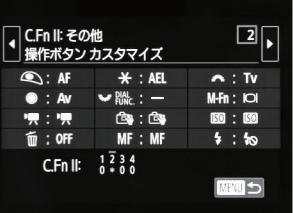
MENU ボタンを押します
左右の十字キーでマークに移動します



C.Fn II : その他を選択します (SET ボタン)



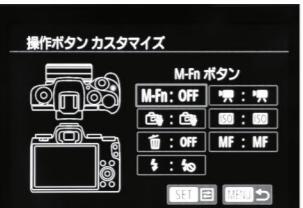
2 の「操作ボタンカスタマイズ」を押します (SET ボタン)



一番下の「他のボタン」を選択します（SET ボタン）



「M-Fn ボタン」を選択します（SET ボタン）



「OI」を選択します（SET ボタン）



M-Fn ボタンが OI に切り替わりました。これで M-Fn ボタンを押すごとにファインダーとモニターの切り替えが出来ます

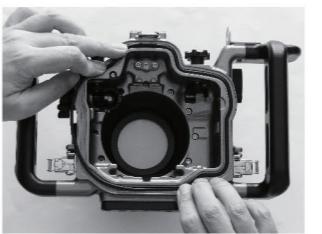


左右のパチン錠を開きます



※必ずグリップの外側から指をパチン錠に引っ掛けで下さい

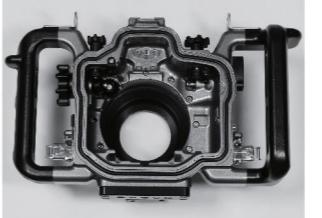
O リングをハウジングにはめます



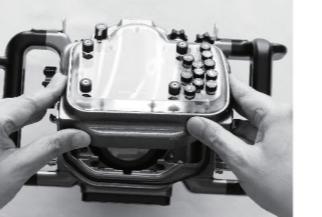
※指をグリップに挟まないようご注意下さい



全体をよく見てゴミや髪の毛などが付いていないかチェックしてください



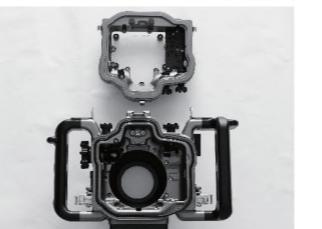
上部のフックを外し、リアパネルを外します



カメラの内蔵フラッシュをポップアップさせます



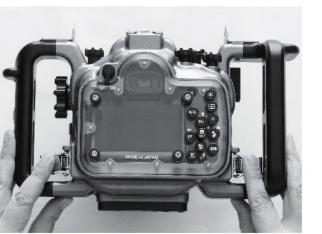
ゴミや埃のない清潔な場所に置きましょう



カメラをこのように持って真っ直ぐハウジングに入れます



左右のパチン錠を閉めます



※指を挟まないように注意して下さい



電源及び各ダイヤル、レバーが正常に動くかどうか確認して下さい

● カメラのセッティング方法

カメラの三脚穴に、カメラ固定ベースを取り付けます。



モニターを少し開きます



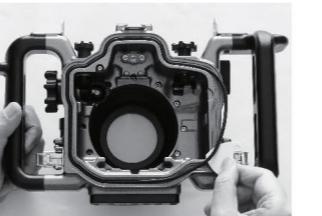
出っ張りがカメラ前面方向になります向きを間違えないように注意してしっかりと取り付けて下さい



液晶モニターは横から見るとこのよう角度がついた状態になります



付属の O リングリムーバーで O リングを外します



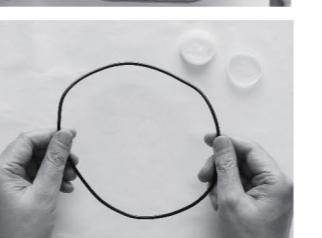
綿棒などで O リングの溝をきれいにします



リアパネル側は、O リングが当たる溝の外側の平らな部分(5mm 程)をきれいにしてください



グリスを適量指に取って、O リングにまんべんなく塗ります



レンズにギヤが付いている場合、フォーカスノブを軽く回しながらギヤを噛み合わせます



※ギヤがレンズから外れていないか確認して下さい



この部分はハウジングとカメラ固定ベースがほぼ同じ高さになります



上部のフックを引っ掛けます



ダイビング後のメンテナンス方法

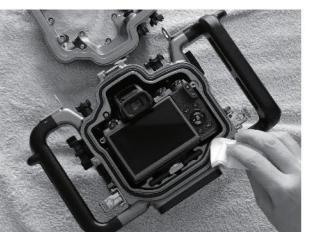
水槽やシャワーで海水を洗い流した後、タオルでしっかりと水を拭き取ります



ダイビング後はパチン錠を静かに外すことを心がけましょう。パネルを開けると、構造上 O リングの溝の手前部分に水滴が付いていることがあります



この水滴をティッシュや綿棒などで必ず拭きとってください



同じくリアパネルの溝の手前にも水滴が付いているので拭きとってください

